

## 第 6 回 南古谷地区

# 川合市長と語り合うタウンミーティング

日時：平成 2 1 年 5 月 2 9 日（金）

午後 6 時 3 0 分～ 8 時 3 0 分

場所：東部地域ふれあいセンター

## 対象地区町字名

大字南田島、大字久下戸、大字並木、並木新町、並木西町、大字今泉、大字牛子、大字古市場、大字渋井、大字萱沼、大字木野目、泉町、藤木町

## 参加者

### 1 性別

|     |    |
|-----|----|
| 男 性 | 55 |
| 女 性 | 21 |
| 無回答 | 0  |
| 合 計 | 76 |

### 2 年齢別

|     | 20 歳未満 | 20～29 歳 | 30～39 歳 | 40～49 歳 | 50～59 歳 | 60～69 歳 | 70 歳以上 | 無回答 | 計  |
|-----|--------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|-----|----|
| 男 性 | 0      | 0       | 0       | 1       | 5       | 27      | 22     | 0   | 55 |
| 女 性 | 0      | 0       | 2       | 3       | 6       | 8       | 2      | 0   | 21 |
| 無回答 | 0      | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       | 0      | 0   | 0  |
| 計   | 0      | 0       | 2       | 4       | 11      | 35      | 24     | 0   | 76 |

### 3 職業別

|     | 学生 | 会社員<br>公務員 | 自営業 | 主 婦 | 農 業 | その他 | 無回答 | 計  |
|-----|----|------------|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 男 性 | 0  | 7          | 12  | 0   | 16  | 18  | 2   | 55 |
| 女 性 | 0  | 2          | 1   | 12  | 2   | 3   | 1   | 21 |
| 無回答 | 0  | 0          | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  |
| 計   | 0  | 9          | 13  | 12  | 18  | 21  | 3   | 76 |

## 出席者

市長、総合政策部長、総務部長、市民部長、福祉部長、環境部長、都市計画部長、建設部長、教育総務部長

## 意見数

### 1 会場

発言者数... 10人 複数回発言した方も1人として集計しています。

#### 意見内容

| 分類    | 件数 | 内容                                                                                                       | 頁                               |
|-------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 教育・文化 | 2  | ・南古谷小学校の狭隘化対策について<br>・小学校・公民館の耐震化                                                                        | 3<br>6                          |
| 健康・医療 | 1  | ・新型インフルエンザ対策について                                                                                         | 9                               |
| 道路・交通 | 7  | ・南古谷駅の北口開設について<br>・通学路の整備について<br>・通学路の整備について<br>・川越シャトルについて<br>・南古谷駅前の渋滞対策について<br>・橋の復元について<br>・道路整備について | 3<br>3<br>5<br>5<br>7<br>7<br>9 |
| 環境・衛生 | 3  | ・下水整備について<br>・カラス被害について<br>・用排水路整備について                                                                   | 7<br>8<br>9                     |
| その他   | 1  | ・出張所、公民館について                                                                                             | 9                               |
| 計     | 14 |                                                                                                          |                                 |

### 2 ご意見用紙

時間の都合でご発言いただけなかった方につきましては、会場入り口に「ご意見用紙」を設置し投かんしていただきました。

| 分類    | 件数 | 内容          |    |
|-------|----|-------------|----|
| 環境・衛生 | 1  | 市有地の草刈りについて | 11 |
| 計     | 1  |             |    |

## 意見交換（要約）

### 《南古谷駅の北口開設、通学路の整備、南古谷小学校の狭隘化対策》

**意見** 南古谷駅の問題が第一番かと思っています。ぜひ北口の開設をしていただいて、東西自由つくっていただきたいと思いますと思っています。

この地域は住宅も多くでき、スーパーマーケット、映画館、娯楽施設等ができて、交通量も多くなってきております。また小学生の増加率が川越市内でも一番かと思っておりますが、車が渋滞している中、駅を挟んだ踏切を通学しているので、安全に学校に通えるようになればいいと思っています。

牛子小学校に通う子どもたちが多くなっておりまして、九十川を越えて小学校に行かなければいけません、渡る橋が一つしかありません。渡りましても狭い道路を通うということで、いろんな危険性を伴っていると感じております。

南古谷小学校の問題ですが、こちらのほうも川越市内で児童数が牛子小学校に次いで2番目ですが、校地が狭く、教室数も足りず、プレハブの教室棟をつくっております。ぜひそういった点を考慮に入れていただき、南古谷地域の子どもたちを少しでも安全に守ってあげられるようにと思っています。

**鹿ノ戸都市計画部長** 南古谷駅の橋上駅化につきましては、現在、JR 川越線整備促進協議会より JR 東日本に要望書を提出しているところでございます。今後も早期実現に向けて協議を継続していきたいと考えているところでございます。

北口開設につきましては、駅前広場の整備とあわせて進めていかなければならないと考えているところでございます。この都市基盤の骨格となって、集中する交通に対応するためにも都市計画道路南古谷伊佐沼線、川越駅南古谷線などとの一体的な整備が必要と考えているところでございます。今後も引き続き皆様と、あるいは関係者の方々と話し合いを進めてまいりたいと考えております。

**染谷建設部長** 牛子小学校の通学路の問題でございます。

田島橋から南に下る市道 5052 号線が通学路になっていると思います。この辺は地区整備計画といいまして、都市計画部と建設部、下水道が、道路の拡張にあわせてそれぞれ整備をするという区域でございます。

田島橋から左に折れるところは整備が若干済んでいると思いますが、その後につきましては、開発するときに広げるという方法でやっておりますので、なかなか一時期に広がるということはありません。下水も引かなければということで、地権者の了解を得ながら、開発に伴わなくても採納していただいているところもございます。今後、地区

の方と相談しながら拡幅に向けて努力していきたいと考えております。

それから、弁天神社から南に行く通りが、市道 0042 号線といいまして幹線道路に指定されています。そこも地区整備計画が片側に入っています。何回か地元の地権者の方と説明会等を行っていると思いますが、幹線道路は基本的には 8 メーター以上の道路がほしいということでご相談を申し上げているわけですが、なかなか合意に達しなくて現在に至っているわけでございます。この道路につきましては要望も多数出ております。通学道路でもございますので、早期に歩道ができるような道路にしたいと考えております。

**有山教育総務部長** 南古谷、牛子とも児童数が一番伸びているということで、校地が狭いということは事実でありますし、少人数学級の関係もありまして、平成 14 年には図書室を後ろにプレハブで作りまして、平成 18 年には少人数指導と生活科の関連でプレハブをつくったわけですが、来年度は聞くところによりますと、1 クラスふえるというお話をいただいております。その対応としては、特別活動に使う部屋をなくしては申しわけないのですが、多目的室を考えております。

耐震補強等につきましても、市長が代わりまして前倒しでやっていただけるために、体育館についても次年度手をつけますので、平成 22 年度に予算と補助金がつけば工事をさせていただきたい。北側の工事も、児童数の推移が現在の伸びだけではなくて新たな社会増があるのかどうか、その辺を注意しながら対応してまいりたい。いずれにしましても、ご迷惑をかけることには間違いないと思いますので、今後ともよろしくどうぞお願いします。

**川合市長** 私の考えとしては、子どもさんの安全確保は最優先でやっていきたいというふうに考えておりますので、道路整備も通学路を優先してやっていくという考えでございます。

それから、この南古谷駅の北口開設の問題でございしますが、例えば駅舎を改良する、つくるという場合に、JR がお金を出すべきなのか、市がお金を出すべきなのか、皆様方は現状としてはどうなのかご存じでしょうか。

本庁地区のタウンミーティングのときに、市駅を早く何とかしてほしいというご意見が多々出ました。市駅は全くバリアフリー化されてなくて、そもそもホームも幅が狭くて危ない状況です。私は、当然東武がお金を出してやるべきことだと思っていたのですが、現実にはそうではなくて、自治体がお金を出さなければいけないということになっているとのことです。

南古谷駅の北口を開設するについても、それに伴う駅舎の改良なども含め、大部分の

お金を市が出さなければやってくれないという現状のようです。これは私のような素人の感覚からするとおかしいと思うのですが、現状はそうだということです。

川越市内にはまだ、南古谷駅のように改良の余地がある駅が幾つもございます、という順番でどういうふうにお金を振り分けていくのか、悩ましいところでありまして、皆様方が南古谷駅の北口開設を早期に実現させてほしいというご要望を持っておいでであるというのは重々承知しておりますが、極力積極的に進めていきたいという、今のところその程度のお答えしかできない状況でございます。

#### 《通学路の整備》

**意見** 通学路でございますけれども、南田島の学童が牛子まで行くとなると、かなりの道のりを歩いて行くわけですが、この中に市道が通っております。この市道は、地権者の方たちの署名をいただきまして市に提出させていただいております、予算の関係ですぐにはできませんが、暫定的に南田島公民館から南へ向かいまして、東側をこれから拡幅しますというお話をいただきました。

東側には、採納の済んでない田んぼが一枚ほどありますが、地権者の方がそういうことで利用するのであれば使っていいというお話をいただいているわけです。しかし、採納が済んでないから拡幅できないというお話なんですね。今まではそうだったのかもしれないんですけれども、地権者の方が了承されているので、採納の済んでない土地も同時に工事いただけるとありがたいということです。

**若海議員** みんな換地があったときに採納してるんですよ。後退しているんですが、1軒だけまだ済んでないんですね。

**染谷建設部長** その場所は先ほど言った市道 0042 号線で、以前から説明会など行っております。片側の市街化区域のほうは地区整備計画という区域に入っております。

地元の地権者の方といろいろ相談を申し上げておりまして、実は今年度、また地元の説明会の開催を予定しておりますので、測量は終わっていますから、その測量に基づきまして地元の人とよく協議をしていきたいと考えております。

地区整備計画というのは、今採納していただいている土地に下水管、またはもし必要であれば水道管を道路拡張する前にやっていきたいという計画でございます。

そんな中で、その地権者の方が下水管も水道管もいいという話であれば、その辺のところはクリアできるのかと思いますけれども、あくまでもこれは私の考え方でございますので、その場所を教えていただきまして確認していきたいと考えております。

#### 《川越シャトル》

**意見** サービスバスについて質問したいと思うんです。利用率の問題と、自分が行きた

いときにチケットみたいなものを渡して補助する方法と、どっちが安いのか。使うほうの立場からすると、タクシー券みたいなものがあるのか、バスを待っているのがあるのか、その辺を私は常に感じていたんですね。空っぽで回っているようなものもあるし、財政が厳しいという今の市長さんのお話でございますが、その辺をよく煮詰めた形の中で一つの財政の建て直しをする考え方であれば、方法を考えるということもあるのかなというふうに考えています。

**川合市長** 市で運営しているバスの件だと思うのですが、私が調べたところでは、売り上げが平成 19 年度は 3,000 万円ぐらいで、そのために、2 つの会社に委託料を合わせて 1 億 8,000 万円ぐらい払っています。3,000 万円になったのも、平成 18 年度に路線の見直しをした結果であって、平成 17 年度までは 2,000 万円程度だったという状況でございます。

それを知って、このまま続けるのと、福祉タクシーみたいな形で個別に乗ってもらうのと、どちらが市の財政上の負担が少なくて皆様の要望にこたえられるか、その辺のところを検討していきたいと今考えているところでございます。

#### 《学校・公民館の耐震化》

**意見** 南古谷小学校は災害時の避難場所ということになっております。それで、学校の耐震化の問題と、たまたま去年の 6 月にすぐ近くの今泉に拳銃たてこもり事件がございましたね。あのときに今泉の住民の方が随分公民館に避難されたんですよ。避難する場合には南古谷小学校だけではちょっと対応し切れませんよね。耐震化の促進という面で、その進みぐあいを知りたいなと思って、南古谷小学校、公民館のようなところもあわせてお伺いできればと思います。

**有山教育総務部長** 耐震化につきましては、本年度は小学校 5 校の教室棟をやらせていただきます。体育館につきましては、第一中学校の体育館を手初めにさせていただきます。その後、IS 値 0.3 に近い学校につきましては、平成 22 年度までに終了させたい。

体育館につきましては、第一中学校の工期設定を 6 カ月から 7 カ月としております。その間は、体育館とその周辺には鉄板で仮囲いをしますので、体育館の中はもちろんですけれども、校庭につきましても、学校の生徒だけではなくて開放という点につきましても我慢をしていただき、そういうこともお願いできればと思っています。予算が確保できれば予定どおり進め、平成 24 年度末にはすべての学校施設の耐震化は終了していきたいという計画で進めております。

公民館につきましても、一館を除きまして耐震診断を終えて、耐震補強も終わっていますので、市立の公民館については大丈夫でございます。

## 《下水整備》

**意見** 下久下戸地区は水田地帯の農村だったんですが、最近は住宅がふえました。あの地区は下水道ができなくて、今のところは用水に浄化槽から流しています。市街化調整区域なんですけれども、市として今後、下水道の整備をどのようにお考えになっているのか、それと、浄化槽は浄化槽で、経済的な負担はございますけれども、農業と住宅がある以上は、両方を調整してやっていかなければならないと思います。これについてお聞きしたいと思います。

**染谷建設部長** 川越市の全面積で市街化区域は3分の1、残りの3分の2が調整区域。下水で申しますと、市街化は全部が全体区域に入っておりまして、残りの3分の2のうちの半分以上が認可区域になっております。全体区域に入っていれば順次認可を取って工事を進めていきたい。ただ、下水道は下流からしないと流れません。川越市は荒川右岸流域下水道組合に入っており、13市町で構成されていると思います。その流域下水道に入れるポイントが幾つかあるんですね。流域の流入口に近いところから入り、順に下流から上流に工事を進めていくということになっております。後日、その辺の計画のことにつきましては、上下水道局に下水計画課というところがありますので、そちらに尋ねていかれますと図面がありまして、図面で説明していただけたらと思います。

## 《南古谷駅前の渋滞対策》

**意見** 南古谷駅前ロータリーの交通渋滞の関係なんですけれども朝晩渋滞がひどくて、ほとんどの車が本線に駐車してるんですね。これを何とかしてほしいということで、ある議員さんをお願いしまして、ここ何カ月か前に白線を引いていただいて本線をはっきりさせていただいた、それからつい何日か前には、ロータリーのところに矢印標示がしてありました。しかし、何らその効果が出ておりません。できればロータリーの南側半分を削っていただいて、本線と構内とを分けていただくようなことができないかということのお願いです。

**清水市民部長** ロータリー部分を縮小して問題の解消につなげることはできないかという方法につきましては、JR、県土整備事務所、それと警察の関係、それから市の都市整備あるいは安全安心生活課の関係者と協議させていただきまして、何とかその解消に向けて進めていければと存じますので、お時間をいただきまして、またその際にうまい方策が見出していければと考えてございます。

## 《橋の復元》

**意見** 新しくできましたウニクスの場所、もとはイズミ自動車工業、それ以前は田んぼがあって、あそこは旧九十川の河川敷であったわけです。

九十川が河川改修された時点には、そこに橋がかかっていたんですが、イズミ自動車工業ができて、その農地は工業地になってしまって、現在は川底に基礎らしきものが残っているというのが現状なんです。あそこが泉町になってから人口が増加しました。その子どもたちは牛子小学校、砂中学校に通学しておりまして、東京街道から南田島橋を渡って、先ほどの通学路を利用させていただいております。

そこで、昔の橋があった位置に、車が通るのではなく歩道のようなものを建設していただきますと、約1キロくらい短縮されるような計算になりますので、ぜひとも実現していただきたいと考えています。

**染谷建設部長** ただいまの橋につきましては、以前本日お見えになっている議員さんからの一般質問もございました。また同じく本日いらっしゃっている議員さんから、あの話はどうしたのかということも伺っております。

現地を確認いたしましたところ、イズミ側につきましては堤防と道路に段差が大分ございます。車の道路としての橋ということになりますと、丁字路になりますので、かけるのは難しいと思っていたところですが、今、歩行者だけの橋ということ伺いました。歩道でいいという話であれば、実現性があるのかなと今お話を聞いて思ったところですので、また地元の人とその辺をよくご協議をさせていただいて、整備していきたいと思っております。

#### 《カラス被害》

**意見** カラスの問題でお尋ねします。駐車場のすぐ上に御神木だろうと思うんですが、大きな木があるんですよ。御神木である以上、その木の枝を払うということもなかなか難しいということと、カラスが子育てをし、車に傷をつけ、ワイパーを引きちぎってしまうという問題が起きています。環境さんのほうでは鳥獣保護法で、カラスはとっちゃいけないんだという規定もございますけれども、車だけの問題ではなくてごみ問題とか発展していくと思いますので、駆除の方法などお聞きしたいと思います。

**小川環境部長** お話のとおりカラスといいましても自然のものでございますので、簡単に駆除というわけにはいかないと、鳥獣保護法等もございます。またごみの問題も抱えておりますが、なかなか妙案といいますか、具体的な対応がないのが実情でございます。自然のものでございますので、さらに検討させていただいて、何かうまい方法がありましたら、またお知恵も拝借しながら対応させていただきたいと思います。

**川合市長** ひとつ、たしか目玉みたいなものをかくと鳥が寄ってこないとか、あるいはディスクのキラキラ光ったのを吊るせば寄ってこないとか、そういう話を聞いた覚えがあるんですが、こういう方法があるのではないかと聞いたことがあるとか、そういう

ようなお知恵をお出しいただければ非常にありがたいと思います。

#### 《出張所、公民館》

**意見** ふれあいセンターを昨年度つくっていただきましてありがとうございました。この隣に税務署がありまして、道を挟んでその隣に、新河岸川の河川事務所がございました。最近、埼玉県の住宅検査センターが来まして、事務をやっているようです。できれば、これは県との絡みもいろいろあるんでしょうが、出張所、公民館を税務署の隣に持ってきていただけると、ふれあいセンターとうまく融合しながら使えて、駐車場等の問題もいろいろとやりくりができて、非常に住民としては使いやすいということです。

**西川総合政策部長** 検査センターのところでございますが、県に確認をいたしましたところ、平成 20 年 4 月から 3 年間ということで契約をしているようであります。また、引き続き使いたいと検査センターは考えていると伺っております。

出張所と公民館という関係でございますが、昭和 52 年の建設ということで古くなっているとは思いますが、ほかとの関係もございますし、地域の実情や財政状況等を勘案しながら検討していきたいと考えております。また、県とも話し合いをしていきたいと思っております。

#### 《道路整備、用排水路整備》

**意見** 渋井は大宮・所沢線の県道がございます。新河岸川の河川改修のときに、前側の道路は市のほうで広げていただいたんですけれども、県道からその南の道路につなぐ広い道が一本もないんです。何年か前に新河岸川の河川敷が火災を起こしまして、南古谷の消防署に来ていただいたんですけれども、富士見有料道路下のガードがくぐれなかったんですね。今は六十数軒の住宅ができたわけですし、何かがあったときに一大事になるんじゃないかなと心配しておりまして、ぜひとも横の道を、要望書を何本も出してはありますが、ぜひともその辺を考慮していただいてやっていただきたいと思います。

それからもう一点、県道の北側に大きな用排水路があるわけなんですけれども、これもちょうど自分が自治会長をしておったときに要望書を出しまして、そして横の線は 210 メーターほど工事をしていただいて、継続事業でやりますよというようなお話でございました。ところがその後手がつかない状態でございます。今はどぶ川になりつつあるわけです。そういうようなところもぜひとも考慮していただきたいと思います。

**染谷建設部長** この渋井と古市場地区につきましては私も以前いろいろお世話になった地区でございますので、この会が終わりましてから図面で御指摘をしていただければありがたいと思います。

#### 《新型インフルエンザ対策》

**意見** 新聞、テレビの報道で新型インフルエンザの流行があって、関西地区ではかなりの感染者が出たということで、幸い、埼玉県ではあっても川越市ではなかった。今後、感染者が多量に出たときに、この川越市の対策、感染予防、病院の手配とか、市の対応というのはどういうことを考えているのかお尋ねします。

**佐藤総務部長** この新型インフルエンザにつきましては、4月28日から日本政府がフェイズ4という段階を受けまして、川越市におきましては当日、新型インフルエンザ対策庁内連絡会議を開きました。また同じ日に危機対策会議を開きまして、情報収集、国や県からの連絡等も含め対応してまいりました。

今のところ弱毒性で、感染も余り強くない、今現在多分340人台の感染者ということで、埼玉県につきましては2名、東京が3名ということで、その人数についてはここ数日広がっておりません。国も、今までは鳥インフルエンザと同じ対応を図ってきたわけですが、柔軟な対応をそれぞれ地域に応じて図るようという指示もございます。川越におきましては、県内で発生しましたので、実は5月25日に市長を本部長とした新型インフルエンザ対策本部を開きまして、相談があった場合には市内で対応できるような体制をとったところでございます。

大阪のほうでは患者数が激減しております。この患者数が減るようなことになった場合には、国でも新たにどういう形で終結に向けた情報を出してくるのか、その辺のところも含めて国また県の情報を注視しながら、川越市としても万全の対策をとっていきたいと考えております。

## **ご意見用紙に対する見解**

□ 近所に川越市の土地がありますが、草が生えて困っています。

【見解】早急に草刈りを実施します。